2026年度 総代懇談会のしおり

～上半期の報告～





2030年理念

つながりあう安心、笑顔が輝く くらし

～平和な社会を未来へ引き継いでいきます～

総代懇談会の概要

●総代懇談会の目的

・総代の役割や総代会、協同組合についての理解を深めます。
・2026年度上半期の事業の状況、下半期すすめることについて報告します。

●開催日程・会場について

開催時間：10時00分～11時45分
※熊野会場、四日市会場は14時00分～15時45分
受　　付：開始20分前から　**※開始時間の5分前までにお越しください。**
会　　場：ご都合のよい日程・会場にご出席ください。



日　程	会　場		所在地
11月14日（土）	久居グリーンホテル	1Fホール	津市
11月15日（日）	光精工コミュニティプラザ（大山田）	1F中会議室	桑名市
11月16日（月）	松阪商工会議所	1F大ホール	松阪市
11月19日（木）	尾鷲市民文化会館（せぎやまホール）	1F小ホール	尾鷲市
11月19日（木）PM	熊野市民会館	1F北大会議室	熊野市
11月20日（金）	三重県総合文化センター フレンテみえ	2Fセミナー室A	津市
11月23日（月・祝）	名張産業振興センターアスピア	1Fホール	名張市
11月24日（火）	シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢	4F大会議室	伊勢市
11月26日（木）	ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿	1Fさつきプラザ	鈴鹿市
11月27日（金）	くわなメディアライヴ	1F多目的ホール	桑名市
12月 7日（月）PM	都ホテル四日市	3F鈴鹿の間	四日市市

Web開催

日　程	時　間
11月14日（土）	15:00～16:20
11月16日（月）	16:00～17:20
11月25日（水）	19:00～20:20

2026年度すすめていくこと（第24回通常総代会議案書第2号議案より）

方針の基本

私たちは、2030年理念・ビジョン「つながりあう安心、笑顔が輝く くらし」を実現します。組合員のつながりとたすけあいの力で、組合員の声を実現し、組合員のくらしの向上を図り、事業経営の安定化と地域づくりへの参加に取り組んでいきます。

重点課題

・生協の基本である組合員による民主的な組織運営を大切にし、組合員の声を反映した組織づくりをすすめます。
・仲間づくりは、一人ひとりでは解決できないくらしの課題や社会課題を、みんなの力を合わせて解決していく生協の原点です。つながりと仲間づくりで、安心してくらせる地域社会をつくります。

●事業と経営基盤の強化

組合員の声を事業に反映し、共感を通じて仲間を増やすことで、より多くのくらしに貢献し続けます。
事業拡大を基本とした経営基盤の強化により、持続可能な生協運営を実現します。

●人を大切にする組織文化の醸成

私たち役職員は、コープみえにかかわる全ての人に誠実・正直に向き合い、その人たちのために仕事をします。人の命を大切にする、人への配慮、人への貢献、互いに尊重し合うこと等、常にその人たちにとってどうかを考え続け行動します。

●地域づくりと組合員のつながり

組合員がより身近にコープみえを感じられる機会を増やします。地域の特性を踏まえながら、幅広い世代が参加しやすい関わり方を工夫し、地域に根ざしたつながりを育みます。

●SDGsの達成にむけて

くらしに直結する課題に取り組み、持続可能な社会と平和なくらしの実現をめざします。すべての事業と活動においてSDGs行動宣言を指針とし、日常のくらしや業務の中で実践を積み重ねていきます。

2026年度の活動方針

（2030年理念・ビジョンの3つのビジョンとコープみえSDGs行動宣言による）

ビジョン 1

安心してくらし続けられる地域社会づくりをすすめます

～地域でくらす、働く、様々な人々や団体と力を合わせ、
誰もが安心してくらし続けられる地域社会に向けて～

SDGs行動宣言
地球温暖化対策を推進し、再生可能エネルギーを利用・普及します
誰もが安心してくらし続けられる地域社会づくりに参加します

ビジョン 2

よりよい「食と健康」のあるくらしをめざします

～生産者と消費者の顔が見える、地域の食が豊かになり、
一人ひとりが健康に過ごせる社会に向けて～

SDGs行動宣言
持続可能な生産と消費のために、商品とくらしのあり方を見直していきます
健康づくりの取り組みをひろげ、福祉事業・助け合い活動をすすめます

ビジョン 3

すべての人への配慮や思いやりを大切にします

～一人ひとりが尊重され、ささえあえる、誰一人取り残さない社会にむけて～

SDGs行動宣言
世界から飢餓や貧困をなくし、子どもたちを支援する活動を推進します
核兵器廃絶と世界平和の実現をめざす活動を推進します
ジェンダー平等と多様な人々が共生できる社会づくりを推進します

数字でみるコープみえの2026年度目標 (2026年3月21日～2027年3月20日)

仲間づくり計画　10,000人

2026年度予算

総事業高 ····· **243億4,027万円**
(前年比　101.8%)

供給高 ····· **236億9,682万円**
(前年比　101.7%)

経常剰余金 ····· **5億8,061万円**
(前年比　90.1%)

経常剰余率 ····· **2.5%**

◆事業経費

人件費・物件費計 ···· 50億4,140万円
(前年比　102.9%)

・人件費 ····· 19億9,057万円
(前年比　101.8%)

・物件費 ····· 30億5,082万円
(前年比　103.6%)

◆各事業の予算

宅配事業供給高 ····· 209億639万円
(前年比　101.5%)

店舗事業供給高 ····· 6億8,774万円
(前年比　105.5%)

夕食宅配事業供給高 ···· 6億6,900万円
(前年比　103.6%)

福祉事業収入 ····· 4,836万円
(前年比　114.5%)

共済受託収入 ····· 2億5,000万円
(前年比　101.6%)

投資計画

◆建物・設備

・鈴鹿・伊勢・紀北センター、まつさか店　移転　**17億円**
・事業所の改善・補強
　コールドチェーン対応、POSレジ・冷凍蓄冷剤凍結庫・プリンター・
　シュレッダー入替、みえっぴい着ぐるみ作成　**6,000万円**

小計　17億6,000万円

◆リース資産分

・リース車両の入替え（10台）　**4,500万円**

◆東海コープ事業連合関連

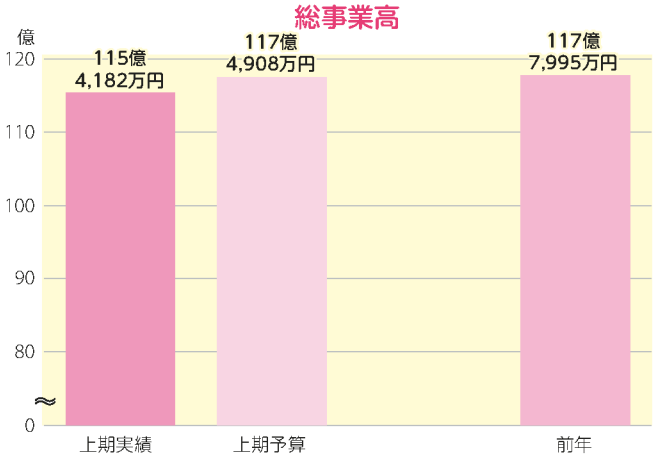
・宅配物流　新ドライSC集品機器関連、小牧要冷SC蓄冷剤冷凍庫設備改修他
・システム　OCRシステム更改、e-フレンズ改善　**4億4,000万円**

投資合計　22億4,500万円

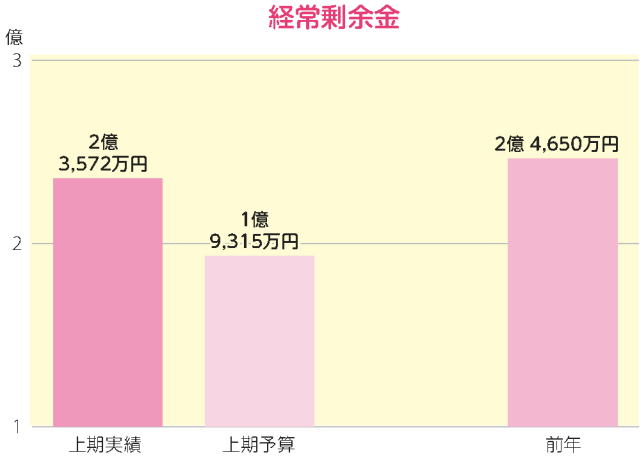


2026年度上半期予算と実績

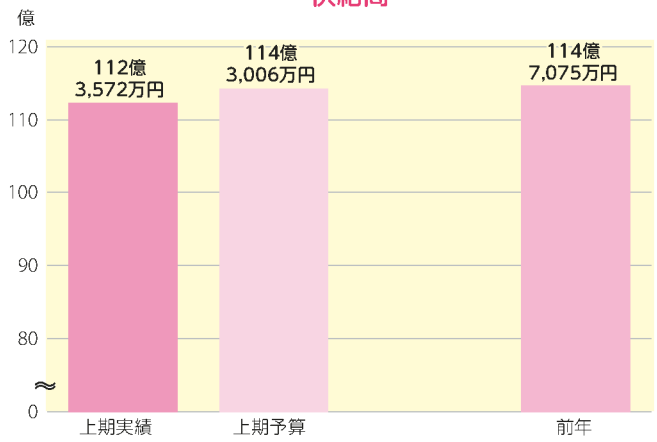
総事業高



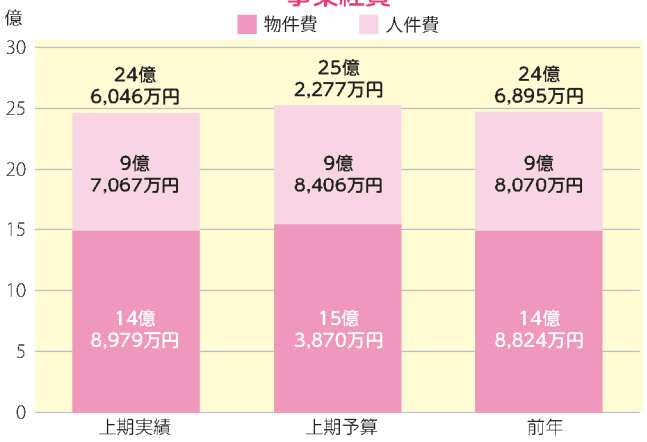
経常剰余金



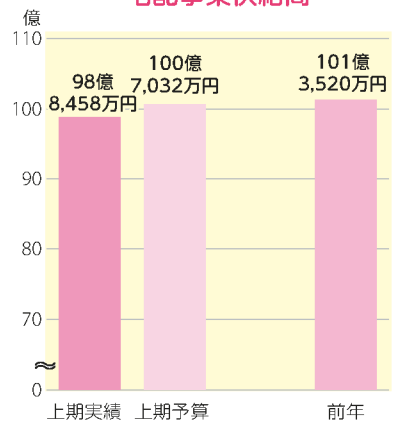
供給高



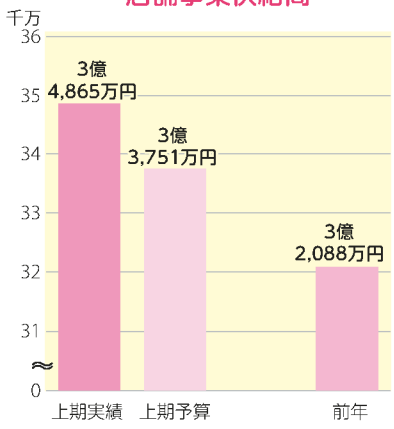
事業経費



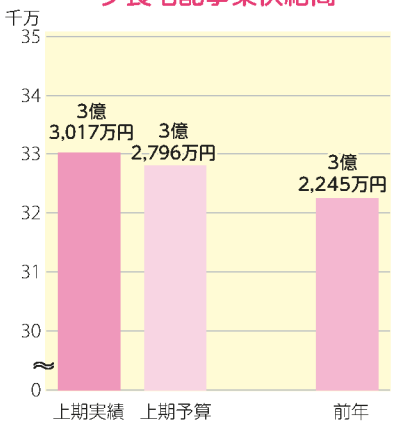
宅配事業供給高



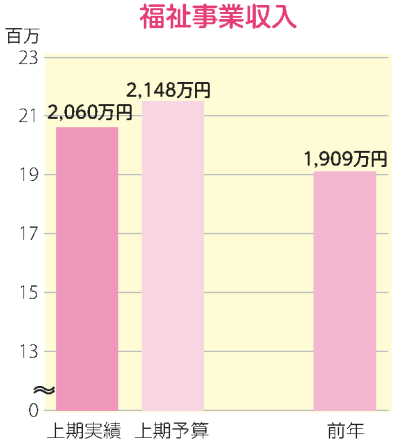
店舗事業供給高



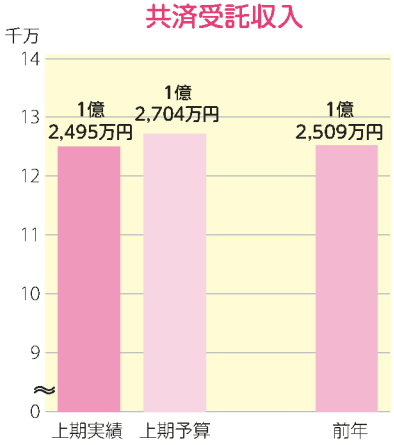
夕食宅配事業供給高



福祉事業収入



共済受託収入





2026年度上半期の取り組み

4月 松阪センターにフードドライブBOXを設置

みえ次世代育成応援ネットワークの取り組み「フードドライブBOXモデル事業」の一環で、協力団体として松阪センターにフードドライブBOXを設置しました。

詳しくはHP参照





5月 核兵器不拡散条約（NPT）再検討会議に職員を派遣

平和の思いを次世代につなぎ、協同組合として、平和活動に取り組む団体と連携し、核兵器のない社会をめざすため、日本生活協同組合連合会の代表団の一員として職員1名を派遣しました。





6月 ハート平和行進、ピースリレー引継ぎ集会に参加

戦後81年を迎え、世界各地で平和が脅かされ緊張が高まる中、平和の大切さを次世代に引き継いでいくために、平和への願いを込めて行進しました。

詳しくはHP参照





7月 みやがわ店リニューアル２周年記念セール

２周年を迎え開催した記念セールは、試食や調理提案、マグロの解体、ガラガラ抽選会などを企画し、多くの組合員が来店しました。





8月 なつやすみこども実験教室を開催

地元産のお米の魅力を伝え、食への関心を深めることを目的に、東海コープ商品検査センターとオンラインでつなぎ、親子で参加できる実験教室を開催しました。お米について楽しく学び、食への理解を深める機会となりました。





9月 タノモット誕生1周年

東海3生協の宅配ブランド「タノモット」の誕生１周年を記念して、さまざまな企画に取り組みました。

「週刊タノモット」
５週連続20％off企画



親子で楽しむ
「タノモットぬりえ募集」企画



タノモット事業

■上半期すすめたこと

まとめ

物価高騰によるくらしへの影響をふまえた価格対応や、年代・地域の特性、くらしのニーズにあわせた商品提案をすすめました。一方、利用人数は前年度を下回っており、利用の定着に課題が残りました。

取り組み

●エシカル消費

・環境や地域、社会、人々などの視点で商品を利用する「エシカル消費」について、商品紹介と合わせて組合員へひろく周知する取り組みをすすめました。

●タノモット誕生1周年

・3生協の宅配ブランド「タノモット」誕生１周年を記念した企画を実施し、タノモット利用のひろがりと認知度の向上、生協をより身近に感じられる取り組みをすすめました。

＜主な取り組み＞
- テレビCMの放映、Web広告、Instagramでの発信
- 商品案内「週刊タノモット」5週連続20％off企画、連続利用プレゼント企画
- タノモットデザインの折りたたみコンテナ導入
- ハピハピボックスリニューアル

●地域・くらしの課題への取り組みと仲間づくり

・買い物に不便を感じている離島のみなさんを支援するため神島を訪問し、試食交流やお試し販売、活動紹介を行いました。鳥羽市社会福祉協議会や神島の組合員と連携し、地域の買い物課題の解決に向けて取り組みました。

・地域のイベントに参加し、商品や活動を地域のみなさんに紹介することで、仲間づくりにつなげました。

・センター主催の商品試食交流会やサマーイベントを開催し、組合員と生産者・メーカーのみなさん、組合員どうしが交流する機会となりました。



神島訪問　お買い物風景



津南センター「サマーフェスタ」

組合員の声

・試食で実際に食べてみると購入するときの参考になります。
・子どもも楽しめる企画が多く、家族で楽しめました。

（サマーフェスタ参加者）

●商品を通した学びや利用の機会づくり

・生協キッチンは、生協商品の学習や調理提案を行い、メーカーのみなさんの商品に込めた想いや便利な利用方法などを知る機会となりました。

＜主な取り組み＞
- 「トマト食べ比べ、よくねたいもガレット」
- 出張生協キッチン「小杉食品工場見学」
- 親子で！手作りマヨ＆混ぜマヨ体験　他



出張生協キッチン

組合員の声

・工場を見学して、子どもが納豆に興味を持ってくれました。
・教えてもらったアレンジレシピを家でも試してみたいです。

（生協キッチン参加者）

・食育活動として、体験型の企画を実施し、食について親子で楽しく学ぶ機会となりました。

＜主な取り組み＞
- お米づくり体験「田植え・稲刈り」
- 2026なつやすみ こども実験教室



お米づくり「稲刈り」

組合員の声

地元のお米を食べてみたいと思いました。

（こども実験教室参加者）

・産地訪問は、赤須賀漁協を訪れ、しじみ漁の見学や、生産者・三重県漁連のみなさんとの学習・交流を行い、産地や生産者について理解を深めました。
・コープの森づくりは、植樹交流会や対象商品の利用を通した寄付活動で、産地の環境を守る活動を支援しています。

＜主な取り組み＞
・「北海道野付のお魚を増やす植樹活動協議会総会・植樹交流会」への参加
・「コープの森づくり」対象商品の利用を通した植樹資金の寄付活動
　北海道野付「ほたて・鮭」、沖縄恩納村「もずく」、
　インドネシアタラカン島「ブラックタイガー」

・職員の商品学習会をすすめ、商品の良さや特長への理解を深めることで、組合員への利用提案に活かしました。


産地訪問　赤須賀漁協

組合員の声
おすすめの商品を買ってみました。レンジで簡単に調理できて、便利でおいしかったので、また買いたいと思いました。

下半期すすめること
○各部署と連携し、タノモットの利用を通じて得られる価値を伝え、利用の拡大につなげる取り組みをすすめます。
○「コープみえ版エシカルプログラム」をスタートし、エシカル消費への共感から、商品の利用による組合員の参加をひろげます。

夕食宅配事業

■上半期すすめたこと

まとめ

組合員のニーズに応える商品・サービスの充実に向け、新規商品の取り扱い準備をすすめました。また、地域での説明会やイベントで、夕食宅配弁当や見守りサービスを紹介し、認知と利用をひろげました。



昼食宅配のご案内

取り組み

●新たな商品の取り扱い
・「昼食のお弁当もあったら助かる」という組合員の声に応え、夕食宅配弁当と合わせてお届けする昼食弁当の企画がスタートしました。
・スポット企画を実施し、利用の機会をひろげました。
・新規商品の「塩分控えめ弁当」を今秋デビューの予定で準備をすすめました。

組合員の声
デイサービス以外の日で、週１～２回でも利用できると嬉しいです。

●見守り活動
・配達時に未開封の弁当があるなど異変が見られた場合は、組合員やご家族、行政、社会福祉協議会へ連絡し、安否確認を行いました。見守りが緊急時の対応につながる事例もあり、対応件数は増加しています。

組合員の声
・味や量が確認できてよかった。
・両親への利用を検討したい。
・今すぐではないが、将来的に利用したい。(お試し企画アンケートより)

●利用をひろげる取り組み
・地域の高齢者サロンや地域包括支援センターでの説明会、社会福祉協議会などイベントで紹介活動に取り組みました。
・タノモット(宅配)利用者を対象に夕食宅配弁当のお試し企画を実施し、利用の拡大と利用傾向の調査に取り組みました。

●地域や行政と連携した取り組み
・津市配食サービス事業の受託契約を更新し、津市美杉地区の65歳以上の一人暮らし世帯や、調理が困難な世帯への夕食宅配を通して、地域でのくらしを支えています。

下半期すすめること
○塩分控えめ弁当の企画を開始します。
○夕食宅配のお試し企画を通して、商品を知るきっかけをつくります。
○各センターでの試食、交流会への参加で認知度向上に取り組みます。

店舗事業

■上半期すすめたこと

まとめ

組合員に信頼される店舗づくりをめざして、品ぞろえや買い場づくりの改善をすすめました。外部コンサルタントの指導を受け、商品の魅力が伝わる買い場づくりや各部門の改善に取り組み、店舗全体で来店者数、供給高、供給剰余金のいずれも計画を達成しました。

上半期決算状況（まつさか店・みやがわ店）

店舗計（千円）	実績	計画	計画比(※計画)
供給高	349,584	338,442	103.3
供給剰余金	82,712	79,611	103.9
GP率（%）	23.7	23.5	0.1%(※)
事業総剰余金	84,394	80,747	104.5
事業経費	101,251	96,789	104.6
直接剰余	△16,857	△16,042	—
来店者数（人）	157,818人	155,100人	101.8%

取り組み

●まつさか店の取り組み

- 東海三県うまいもの市やコープ市を開催し、組合員のニーズに合わせた企画で買い場を盛り上げました。

組合員の声

試食してみて、こんなにおいしいのなら、また買いたいと思いました。

＜主な取り組み＞
- お造りよりどりセール
- 感謝祭来店スタンプカード
- 大人数ファミリー向けのジャンボパック





まつさか店感謝祭

- 商品活動委員会のメンバーが、感謝祭や土用の丑の日などに合わせて試食活動を行い、組合員自身が商品の魅力やおいしさを伝えました。
- レシピカードを商品前に設置するなど、商品を選びやすく、利用につながる買い場づくりをすすめました。


まつさか店買い場


みやがわ店買い場

●みやがわ店の取り組み

- リニューアルオープン2周年を迎え、米の企画やマグロの解体ショーなどを実施しました。来店者数、供給高が計画を達成し、利用をひろげる取り組みとなりました。
- 地域の花火大会や季節の行事に合わせて商品企画や調理提案を行い、組合員のニーズに応える買い場づくりをすすめました。
- 「みやがわ店推し活会」の組合員が試食活動を行い、組合員どうしの交流を通してお店をより身近に感じる機会となりました。


みやがわ店試食風景

- 商品を選びやすくする工夫や、季節に合わせた商品の提案など、利用しやすい買い場づくりをすすめました。

●移動販売の進捗

- 利用者との会話を大切にし、くらしに合わせた商品提案を行いました。口コミで利用がひろがり、地域の要望に応えて停留所を増やすなど、買い物に困っている方を支える取り組みをすすめました。

＜運行エリア＞
三重県松阪市一帯
火曜日：松阪市大河内町・福祉施設　　木曜日：松阪市平成町、山室町、福祉施設
金曜日：松阪市飯南町　　土曜日：松阪市飯南町・飯高町
利用人数：1日あたり25名(8月度実績)
供給高　：1日あたり47,989円(8月度実績)　　品ぞろえ数：約400アイテム

組合員の声

家からすぐの場所に移動販売が来ているので、一度利用してみようと思います。　（まつさか店組合員）

●店舗での仲間づくり

- 来店者への加入案内や、組合員紹介キャンペーンを実施し、新たな仲間づくりにつながりました。

＜主な取り組み＞
- 新規加入者特典「タノモットマイカゴ」プレゼント
- 組合員紹介キャンペーン



下半期すすめること

○ 引き続き、コンサルタントの指導を受けながら、運営面の改善、買い回りしやすい買い場づくりの改善を行い、組合員に信頼される店舗づくりを行います。
○ 買い場での提案を通じて組合員の支持を高めていくことで、持続可能な事業運営をめざします。

くらしの事業/㈱スマイルサービスみえ

■上半期すすめたこと

まとめ

すまいの事業では、災害時の住宅の備えについての呼びかけや相談会を実施しました。葬祭事業では、提携業者の案内を強化し、問い合わせの増加につながりました。スマイルサービスみえでは、安定した配送体制の確立をめざし、従業員の採用をすすめましたが、現在も数名の欠員があり、人員の確保が課題となっています。

取り組み

●葬祭事業

・全提携業者を一覧にした案内チラシを活用し、もしもの時に安心して相談できるよう、葬祭サービスの認知向上に取り組みました。

●すまいの事業

・住まいるフェアや「あんみつ雨戸展示相談会」を各地域で開催し、住まいに関するお困りごとや相談に応えられるよう取り組みました。

・防災対策をテーマとしたチラシを配布し、災害時にも安心して暮らせる住環境づくりについてお知らせしました。

組合員の声

毎年、庭木の剪定、草刈りを依頼しています。自分で作業できないところもあり、とても助かっています。（くらしの便利屋利用者）

●子会社（株）スマイルサービスみえ

・従業員採用はSNSの活用などさまざまな媒体を使って情報収集をしました。

・「くらしの便利屋」は、網戸の張り替えや草刈りなどくらしの中のお困りごとに応える取り組みをすすめました。

下半期すすめること

○ 組合員のくらしに寄り添い、事業やサービス、求人の情報を継続的に発信し、利用促進と人の確保をすすめます。

くらしの保障事業

■上半期すすめたこと

まとめ

全国の組合員どうしの助け合いによる共済の価値を伝え、くらしのなかで起こる「もしも」に備えて、コープ共済4制度や火災共済で安心につながる保障の提案をすすめました。お誕生前申し込みの認知もひろがり、申し込みも増えています。

取り組み

●「助け合い」の想いをひろげる取り組み

・コープ共済の長期加入者への感謝企画や、給付申請忘れの防止、本人と家族に合った保障の提案などを通し、「助け合い」の輪をひろげる取り組みをすすめました。

・子どもが生まれた日から保障が始まる「お誕生前申し込み」のコースの認知がひろがりました。



くらしの見直し講演会「公的年金制度の基本と自分に合った受け取り方」

●コープ共済の推進活動

・子育て関連の地域イベント「リトルママフェスタ」に参加し、コープ共済の魅力をお知らせしました。

・全国の生協とともに「能登を元気にアポチャレンジ企画」に参加し、共済推進活動を通し被災地支援に取り組みました。

●ライフプランニング活動

・LPA（ライフプランアドバイザー）の会と連携し、「くらしの見直し講演会」「茶話茶話会」を開催しました。くらしのお金や保障について、学び、考える機会となりました。

組合員の声

年金受給について、さまざまな情報に惑わされていましたが、講演を聞いて、何が正しいか理解できました。（くらしの見直し講演会参加者）

下半期すすめること

○ コープ共済連、こくみん共済COOPと連携し、組合員のくらしにあった保障提案に取り組みます。

○ 仲間づくりと連携し、新規加入組合員へのお知らせ活動を強化します。

福祉事業・福祉活動

■上半期すすめたこと

まとめ

事業の損益改善に取り組み、特に訪問介護事業、居宅介護支援事業は改善がすすみました。利用者の受け入れ体制の充実に向け、引き続きヘルパー職員、ケアマネジャーの確保が必要です。

取り組み

●福祉サービスセンター松阪

- 通所介護（デイサービス）は、施設見学や無料体験利用を通じて、コープの介護サービスの内容や特色をお知らせし、新たな利用につなげる取り組みをすすめました。
- 訪問介護はヘルパーが増え、利用者の受け入れ体制が少しずつ整ってきています。
- 利用者家族に介護の悩みをお聞きするなど、家族の負担や疲れの軽減につながるよう取り組みました。

福祉サービスセンター松阪

●福祉活動

- 地域の福祉活動を支援するため、2026年度の福祉活動寄付先の募集を開始しました。

福祉活動寄付先募集

●くらしたすけあいの会の取り組み

- 家事援助や託児などの問い合わせが増えるなか、活動会員の募集や説明会の開催に取り組みました。また、会を知ってもらうきっかけとして、「姿勢講座」を開催しました。
- 2026年度総会を開催し、各地域の取り組みを共有し、今後の活動への意欲を高める機会となりました。

くらしたすけあいの会

＜くらしたすけあいの会への相談・依頼内容＞
- 一人暮らしの高齢者からの通院や散歩の付き添い、家事援助の相談
- 出産予定の方からの家事援助の相談
- 託児依頼

他

下半期すすめること

○ 福祉事業は、他事業所との交流から、つながりをより強化し、通所介護の利用拡大につなげます。
○ 2026年度福祉活動寄付先の報告・交流会を開催します。また関連団体の企画への参加などを通じて交流を深めます。

組合員活動

■上半期すすめたこと

まとめ

組合員活動の新制度「コープシップ」の運用を開始し、地域の活動に新たなつながりが生まれています。
また、コープアドバイザー制度を活用した座談会を開催するなど、組合員と地域のみなさんとの交流がひろがり、組合員が主体となった活動がすすみました。





コープアドバイザー「サロン座談会」

取り組み

●組合員活動の新制度

- 「コープシップ」は、コープフレンズを含め81グループが登録しています。地域委員会を通じた交流や意見交換が行われ、地域の活動ネットワークづくりがすすんでいます。今後は、「コープリンク」などのオンラインツールの活用をすすめ、活動のさらなるひろがりにつなげます。

●組合員による取り組み

- コープアドバイザー制度を活用し、「地域づくりのヒントがみつかるサロン座談会」を開催しました。組合員と地域の方を対象にした学習会は、「教えたい、学びたい」という想いに応えた場づくりとなっています。
- エリアコーディネーターは、組合員の興味や関心に合わせて、料理、手芸、環境、子育てなどのさまざまなテーマで活動を企画・運営しました。

＜主な取り組み＞
- みそ作り教室
- 手作り布ぞうり
- おこづかいゲーム
- わが家でできるリサイクル生ごみ有機堆肥づくり
- BABY'S☆Workshop

他

・たべる＊たいせつ・キッズサポーターは、「たべる＊たいせつ・キッズ料理会」を開催し、子どもたちが食について楽しく学べる活動をすすめました。
・コープサークルは、身近な仲間が集まり、好きなテーマで活動しました。組合員がお友達を誘うことで、生協の商品や活動を知ってもらう機会にもつながっています。
・LPA（ライフプランアドバイザー）の会は、資格を持つ組合員が、保険や年金、教育資金などくらしのお金に関する学習会を開催し、組合員のライフプランに関するアドバイスを行いました。
・商品活動をすすめる会は、商品についての学習や、商品企画・見直しに取り組みました。
・その他、旅行を進める会、講座活動、子育てひろばなど、さまざまな活動に多くの組合員が参加しました。


「たべる＊たいせつ・キッズ料理会」



商品活動をすすめる会商品学習会

詳しくはHP参照
組合員活動

組合員の声

コープサークルは、班購入のメンバー全員に会える貴重な機会なので、健康や家族のことなど話は尽きず、おしゃべりを楽しみました。

下半期すすめること

○地域委員会を含む「コープシップ」の活動推進、地域の子育て団体との連携や、みえ医療福祉生協との協同による健康づくりなど、地域とのつながりを大切にした活動をすすめます。
○「コープ倶楽部」の運用開始など、オンラインツールの活用による積極的な情報発信をすすめます。

くらしの諸課題・地域づくりへの参加

■上半期すすめたこと

まとめ

平和や環境の学習や交流を通し、一人ひとりが自ら考え、理解を深める機会づくりをすすめました。また、買い物支援や、行政や諸団体と連携した生活困窮者支援など、地域におけるくらしの課題を解決するためのしくみづくりをすすめました。

取り組み

●平和の取り組み

・核兵器のない平和な世界の実現に向け、さまざまな取り組みに組合員と役職員が参加しました。それぞれの取り組みの中で、平和への想いを共有し、理解を深めました。

＜主な取り組み＞
▪ NPT再検討会議への職員派遣
▪ ハート平和行進（津市）、国民平和大行進（県内各地）参加
▪ ピースアクションinヒロシマ・ナガサキ参加
▪ 沖縄6.23ファミリーピースウォーク参加

●環境活動

・松阪市の環境の取り組み「まつさかE-co-to（ええこと）ネットワーク」に登録し、地域と連携したイベントや学習・交流に参加しました。
・三重県環境学習情報センターと連携し、エシカル講座を開講しました。
・9月21日からスタートの「エシカルプログラム」の推進に取り組みました。

＜講座のテーマ＞
▪ ECOサマーデイ～発見教室 環境マークのひみつを知ろう！～
▪ 環境学習地域リーダー養成スキルアップ講座～エシカルってなに？～



ハート平和行進参加者のみなさん

●災害対策・防災

・災害対策マニュアルとBCP（事業継続計画）を現状に合わせて見直しました。
・紀北町と「災害時における支援協力に関する協定」を締結し、地域と連携した支援体制づくりをすすめました。
・山林火災や地震の被災地への支援募金に取り組みました。

＜主な取り組み＞
▪ 岩手県大槌町山林火災支援募金
▪ 熊本地震支援募金

＜ミニトピックス＞
組合員のみなさんから寄せられた募金は、日本生協連や被災地の生協を通じ、被災されたみなさんへの義援金として届けられています。昨年度実施した「大分県佐賀関大規模火災支援募金」では、大分県生活協同組合連合会から感謝状をいただきました。組合員のみなさんの想いが、被災地の支援につながっています。



大分県生活協同組合連合会からの感謝状

●生活困窮者支援の取り組み

・三重県のフードドライブBOXモデル事業で、多気町の子どもの第三の居場所「こころふる」と連携し、食を通じた子どもたちの支援をすすめました。(P.5 4月の取り組み参照)
・社会福祉協議会と連携して、支援物資の調達や支援活動の運営協力など、生活に困難を抱える方への支援に取り組みました。

＜主な取り組み＞
▪鳥羽市社会福祉協議会の食料支援「ひだまりパントリー」への参加
▪玉城町や川越町の社会福祉協議会が行う支援活動の商品調達協力


鳥羽市社協「ひだまりパントリー」の様子

●ユニセフの取り組み

・自然災害や紛争等により、命や生活が脅かされている子どもたちのために、三重県ユニセフ協会と連携して、募金活動をすすめました。

＜主な取り組み＞
▪自然災害緊急募金「ベネズエラ地震」「ネパール土石流」
※その他、年間を通じて、「一般募金」と「ウクライナ緊急募金」の呼びかけを行っています。

詳しくはHP参照

●地域づくり

・いなべ市との「地域包括ケア推進にかかる連携協定」に基づき、「篠立地区ふれあいサロン」の栄養講話に参加し、健康づくりや食について交流しました。

下半期すすめること

○ 環境活動寄付金贈呈式・交流会を開催し、環境について学び、考える機会をつくります。
○ 平和活動の報告会を開催し、平和への想いや学びをひろげます。
○ 東日本大震災を風化させず防災について学ぶ学習会を開催します。
○ 組合員一人ひとりがこれからの社会について考え、よりよいくらしの実現に向けた行動がひろがるよう取り組みます。

声の実現

■上半期すすめたこと

まとめ

「組合員の声を事業や活動に反映し、その結果を実感できる組織運営」をめざし取り組みました。寄せられた声やアンケート結果を部門間で共有・分析し、事業や活動の改善につなげました。改善事例の発信を強化し、組合員の声を集め、活かし、伝える取り組みをすすめました。

取り組み

●広報

・Instagramでタノモット 1周年記念キャンペーンを実施し、310名の応募がありました。SNSを通じた認知向上と接点拡大につながりました。
・YouTubeとInstagramでAI動画広告を配信し、若年層を含む幅広い層へのデジタル広報を強化しました。
・コープみえ公式キャラクター「みえっぴい」をリニューアルし、ホームページやSNS、広報誌、グッズなどに活用し、親しみを感じてもらえる広報活動をすすめました。

＜SNSの活用＞
・Instagramのフォロワー数11,087名
・動画再生回数　2動画合計593,798回


リニューアルした「みえっぴい」

・コープみえLINE公式アカウントを開設し、情報発信の方法をひろげました。
・地域のスポーツへの協賛を通して地域貢献活動の発信と認知向上を図りました。

＜主な取り組み＞
▪三重テレビ「はばたけ！とこわかアスリート」への協賛
▪「第108回全国高等学校野球選手権三重県大会」に協賛CM

コープみえLINE公式アカウント

●組合員の声の収集・分析の取り組み

・コールセンターやメール、配達時などに寄せられた声を収集・分析し、保冷対策の強化などサービス改善につなげました。
・新規加入組合員へアンケートを実施し、生協への期待や満足度など寄せられた声を、今後の事業やサービス向上に活かしています。また、夏季の商品配達に関するアンケートを実施し、お届け状況やご意見を聞き、配達対応の向上につなげました。

組合員アンケートの声（抜粋）
・仕事や育児の中、簡単に調理できる商品は負担軽減になった。
・原材料などをゆっくり確認して注文できるのが良い。
・重たい物を配達してもらえるので助かる。
・保冷箱の保管が大変。
・時間がある時は商品選びが楽しいが、カタログが多くて疲れる。
・少し高いが生活は便利になった。

●コールセンターの取り組み

・より早く確実につながる受電体制の整備と職員教育をすすめ、受電率は前年を上回る95.7%となりました。
・広報部門と連携し、FAQ（よくある質問）やチャットボットの活用をすすめ、知りたい情報をいつでも確認できる環境を充実させました。
・意見や要望を関係部署と共有し、情報発信やサービスの改善につなげました。

下半期すすめること
○ 多くの組合員に役立つ情報を届けるためLINEの友だち3万人をめざします。
○ コールセンターの応対品質向上と職員育成をすすめます。
○ 組合員の声を活かした情報発信とサービス向上につなげます。

職場づくり

■上半期すすめたこと

まとめ

夏場の労働環境の改善を目的として、夏季休業を実施し、職員の健康・安全の確保や心身のリフレッシュにつながる取り組みとなりました。また、事業や活動を支える体制の確保に向けて職員採用をすすめ、必要な人の確保を図りました。

取り組み

●キャリア支援・職場環境

・8月10日から14日までの5日間を夏季休業としました。組合員のくらしへの影響を最小限に抑えるよう、事前案内を徹底し、大きな混乱なく実施することができました。
・職員採用は、さまざまな媒体を活用し、キャリア（中途）採用をすすめ、5名が入協しました。

●健康と安全の取り組み

・健康で安全な職場づくりに取り組み、「三重とこわか健康経営カンパニー2026」を取得しました。
・各事業所職員が地域での交通安全見守り活動に参加し、安全で安心な地域づくりに貢献しました。

下半期すすめること
○ 次年度の職員体制を見据え、人の確保をすすめます。
○ 全職場でのハラスメント研修を実施します。
○ 継続して職員の力量向上の機会と体験機会の拡充に取り組みます。

2030年理念・ビジョンの目標と達成指標

	ビジョン	目標	定量指標	定性(組合員の気持ち)指標
ビジョン1	安心してくらし続けられる地域社会づくりをすすめます	地元メーカー、生産者の商品を通して産業と地域の活性化をはかります	地元の商品の利用点数	地元の野菜・食品の名前を言えるか ふだん地産地消を意識して買い物をしているか
		すべての地域で組合員が事業と活動に参加しています	県内加入率40％	困りごとを相談する人・場があるか 住んでいる地域でコープみえのトラックを（毎日）見かけるか
		各協同組合の強みを出し合って、SDGsの実現をめざします	（定量指標はありません）	県内の生活協同組合が連携して、社会を良くする取り組みが広がっていると感じるか
		世界平和の実現に貢献します	平和についての署名数・募金額	平和について考える機会があるか
		事業と活動を通して、脱炭素社会への取り組みをすすめます	CO_2排出量60％削減（2013年度比）	（定性指標はありません）
ビジョン2	よりよい「食と健康」のあるくらしをめざします	安全・安心なものを手に取りやすい価格でお届けします	利用人数・利用点数・利用金額	食卓にのぼった生協商品に満足できたか 安全・安心・価格といえば生協と認知されているか
		食品ロスを減らす仕組みをつくります	食品廃棄量のグラムと金額（店舗・センター・タ宅）、フードバンクなどへの提供数	食べ物の大切さを意識する気持ちが社会に広がっていると感じるか
		子どもたちへ安定した食事と健康を提供します	食育の情報提供の数 学びと体験の場づくりの数	子どもたちがバランスの良い満足した食事をしているか
		全ての人が健康的な生活を送るための情報を提供します	健康情報の提供数	健康について考える機会が増えたか
ビジョン3	すべての人への配慮や思いやりを大切にします	だれもが利用しやすい仕組みをつくります	年代別・地域別の利用人数 年代別・地域別の加入率・利用率 共済加入（保有率）	くらしを守るコープみえの商品やサービスをストレスなく利用できるか
		ジェンダー平等・障がいのある人をはじめ、あらゆる人が活躍できる場所をつくります	女性幹部率・障がい者雇用率	社会との関わりの中で自分の性別や障がいを気にせず関われているか
		地域のつながりをつくることで、地域の困窮への助けいあいの輪を広げます	子ども食堂の数	住んでいる地域が明るくなったと感じるか
		人と地域に役立つような人づくりをすすめます	お役立ちした（好事例の増加）回数	職員が仕事を通じて地域の役に立っていると実感しているか
		気持ちがよいあいさつを心がけ「まち」の治安に貢献します	（定量指標はありません）	自ら進んで声かけができているか
		育児、介護で悩んでいる人へのサポートをすすめます	（定量指標はありません）	育児や介護で悩みを持っている人が身近に困りごとを相談する場があるか

環境政策（要約）

環境政策「４つの柱」と取り組み

Ⅰ．低炭素社会の実現

〔温室効果ガス（CO_2）削減の目標数値〕
CO_2排出総量（目標）2030年度：802トン
＊2013年度の2,005トンから60％削減。

地球温暖化への対策と低炭素社会の実現に向け、温室効果ガスの排出削減と再生可能エネルギーへの転換などに取り組みます。
⑴省エネルギー化の取り組みとCO_2排出量の削減
⑵再生可能エネルギーの普及と電力事業の事業化に向けて調査の継続
⑶カーボンオフセットによるCO_2排出量削減
⑷原子力発電に頼らない社会づくり

Ⅱ．循環型社会の実現

廃棄物の削減や、限りある資源を大切にしたリサイクルや再資源化など、環境負荷の低減と資源の循環再生利用に取り組みます。
⑴事業所からの廃棄物の削減と再資源化やリサイクル化
⑵家庭ごみの削減と再利用の活動、学習・情報交流活動
⑶循環資源再生利用活動の取り組み
⑷環境に関する各法令の順守

Ⅲ．自然との共生社会の実現

森林や河川・海洋、生物など、自然環境の大切さに触れ、学びあい、自然と共生する社会やくらしなど、環境保全の啓発に取り組みます。
⑴環境に優しいくらし、持続可能な社会をめざした取り組み
⑵組合員による環境保全活動
⑶環境保全活動の組織的な取り組み

Ⅳ．環境にやさしい商品の普及

環境に配慮した商品やエシカル商品など、地球と環境にやさしい商品の普及、包装資材の削減に取り組みます。
⑴環境に配慮した商品づくりや商品普及

コープみえホームページ
環境政策ダイジェスト版

産消提携政策（要約）

― コープみえの産消提携活動 ―

コープみえは、安心して食べられる食料の安定的な確保や、多様な産物を育む地域の活性化、環境保全といった、県内消費者の基本的なニーズを実現するための取り組みの一つとして、「産消提携活動」をすすめます。（略）
以下の3つを基準として、産消提携の取り組みを広げます。
⑴ 生産地と生産者が明確であること。
⑵ 栽培、肥育方法が明確であること。
⑶ 組合員と生産者が交流できること。

1．目的

⑴組合員の「安全でおいしい生鮮食品を」というニーズに応えます。
⑵生産者と組合員との幅広い交流をすすめます。
⑶三重県内をはじめ、東海地域、国内の農畜水産業を応援し、食料自給率向上をめざします。
⑷環境保全や地域振興など、農畜水産業がもつ多様な価値を認識し、豊かな地域社会づくりを応援します。

2．『産消提携』品の取扱い

⑴生産者、組合員と共に商品を育成し、産直ブランドとしての事業の拡大につなげます。
⑵定期的な産地点検をすすめることにより、品質管理レベルの向上をめざします。また、供給前に東海コープ商品検査センターで、残留農薬および動物用医薬品等の検査を行います。
⑶シーズン又は年間取扱終了後、供給（数量）及び品質評価等を東海コープと連携しながら行います。

3．『産消提携』における交流

⑴生産者と生協組合員が対等の立場で交流し、相互理解を深め、良好なパートナーシップを築きます。
⑵生協組合員、生産者の参加のすそ野を広げ、より多くの、より多彩な参加者による産地交流をめざします。
⑶商品案内書・広報誌・ホームページなどで、生産者団体・生産者名や交流に取り組んでいること、産地の取り組みや価値が伝わる情報提供に取り組みます。

4．持続可能な『産消提携』品の生産をめざす

⑴産消提携は、食品の安全・安心とともに、持続可能な農畜水産業と地域をめざす取り組みにフィールドを広げ、強化していきます。
⑵持続可能な生産への取り組みは、生協と生産者の取り組みにとどまらず、地域の行政や協同組合、団体との連携が欠かせません。そうした産直の枠を超えた取り組みも広げていきます。

福祉政策（要約）

すべての事業・活動に福祉の視点をもって

めざすこと
1
くらしの安心と支え合う協同

1）くらしの協同と支えあいを大切に

・コープみえでは「つながりあう安心、笑顔が輝く くらし」を基本理念に、事業と運動に取り組み、組合員の輪を広げてきています。こうした協同の力、支えあいを大切にした生協の取り組みをより一層すすめていきます。
・生協の事業のインフラを使った見守りの取り組みや地域の安全の醸成に取り組んでいきます。

2）誰もが安心してくらせる豊かな社会の実現

・すべての人への配慮や思いやりを大切にする、福祉の視点をもった生協の事業・活動を通じ、憲法第25条の生存権、ノーマライゼーションの理念を大切にした、誰もが毎日を安心してくらせる豊かな社会の実現をめざします。
・より良いくらしをめざし、健康・医療・介護・子育て・社会保障制度、地域共生を学ぶ場や情報提供などに取り組みます。また、地域や諸団体と連携した制度改革や運動の取り組みをすすめます。
・障がい者、児童、生活困窮、子どもの貧困と食の問題、低所得者、外国にルーツをもつ方への対応を検討し、多様な人々が共生できる地域づくりをすすめます。

取り組み
2
福祉の視点をもった事業・活動の展開

1）すべての事業・活動に福祉の視点をもって

・誰もが“ふだんのくらしをしあわせに”営めるように１人ひとりが尊重され、助け合い、困りごとを解決していく取り組みをすすめます。
・生協のすべての事業・活動に、福祉の視点をもち、誰もが利用・参加できる事業と活動の展開を図ります。

2）幅広い対応力をもった事業・活動の実現

・コープみえがもつインフラや生協の特色を活かした総合的なサポート力の発揮と、幅広い対応力をもった事業・活動の実現をめざします。
・くらしのさまざまな生活課題に応え対応できる、生協の事業・活動を追求していきます。
・既存の福祉事業は地域でより一層必要とされる事業となるよう、事業と運営の改善努力を図りながら取り組みをすすめます。新たな福祉サービスの展開は情勢もみながら調査研究をすすめていきます。

3）生協で働く全ての人が、福祉の視点や考え方を大切にしていきます

・笑顔であいさつができ、生協の事業・活動を福祉の視点ですすめられる人づくり・担い手づくりをすすめます。
・生協の福祉事業で働く人の育成・確保をすすめます。
・福祉活動や地域の福祉の担い手づくりをすすめます。

社会への貢献
3
地域とともに、地域で必要とされる生協であるために

1）地域や諸団体との連携・協力

・地域の一員として、行政・地域諸団体と連携・協力し、地域に根差した事業・活動を展開していきます。

2）組合員・地域の多様な活動の推進、応援・支援

・地域の組合員・住民が主体となった協同の場、人と人のつながりの場、ボランティアの参加の場がつくられていくことをめざし、誰もが気軽に参加できる幅広い多種多様な活動をひろげます。
・地域で活動する諸団体との交流を積極的にすすめるとともに、活動への応援・支援の取り組みを継続します。

